

自己評価結果等届出書

令和 8 年 2 月 26 日

鹿児島市長 殿

1 事業者（所）情報

事業者の名称 (法人名)	株式会社 サクラバイオ				
事業所の名称 (施設名)	進学&就職準備型 放課後等デイサービス グッドジョブテラス				
事業所番号	4650101407				
事業の種別	児童発達支援	<input checked="" type="checkbox"/>	放課後等デイサービス		保育所等訪問支援
事業所の所在地	鹿児島市千日町1-1 4F (407区画)				

2 公表状況

公表日	令和 8 年 2 月 26 日	
公表方法	1. 方法の区分 (プルダウンから選択)	ホームページ ↓ 2 にURLを記載
	2. 内容	https://goodjob.group/profile/#disclosure
	※公表をホームページ以外の方法で行っている場合には、公表している媒体の写しや事業所内の掲示箇所が確認できる写真等も添付すること。	

3 自己評価事務担当者情報

担当者名	酒匂 まどか
連絡先 (TEL)	099-295-3840

※公表している自己評価表を添付すること。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	進学&就職準備型放課後等デイサービス グッジョブテラス		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 13日		2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2026年 1月 13日		2026年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども理解に基づく個別支援	<ul style="list-style-type: none"> ・支援目標と日々の活動が結びつくよう意識している。 ・個別支援と集団活動の双方の中で、子どもの成長課題を意識した関わりを行っている。 ・支援内容については、計画を示しながら具体的に説明することを大切にしている。 ・子どもの変化を職員間で共有し、支援の方向性を統一している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントやモニタリングの機会をより充実させ、支援の検証サイクルを強化する。 ・目標達成度をより具体的に可視化し、成長の過程を共有できるようにする。 ・専門性向上のための研修や事例検討を継続的に行い、支援の質のさらなる向上を図る。
2	相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・通信制高校の相談会などのイベントや天文館図書館と共催の子育て講座などの保護者向け講座を開催し、情報提供の機会を設けている。 ・相談しやすい雰囲気づくりを心がけ、日常のやり取りの中で困りごとを把握している。 ・生徒や保護者を対象とする個別相談を定期的に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なモニタリングや個別相談の充実を通して、引き続き保護者や生徒のニーズ把握に努める。 ・生徒向けの個別相談について、さらなる周知を図るとともに、安心かつ気軽に活用できる環境づくりに努める。
3	安心できる環境づくりと柔軟なプログラム運営	<ul style="list-style-type: none"> ・新学期や受験期など時期に応じた活動内容の調整を行っている。 ・交流活動、表現活動、体験活動、学習支援などバランスを意識したプログラム構成としている。 ・事業所内の落ち着いた過ごせるスペースに加え、隣接する図書館も活用し、学習や静養など目的に応じて、子ども自身が環境を選択できる体制を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒や保護者の意見を反映しながら、よりニーズに即したプログラムを作成する。 ・商業施設内という特性を踏まえ、人通りの少ないルート等を周知し、安心して通所できる環境づくりを強化する。 ・活動のねらいや成果をより明確にし、支援計画との連動を可視化する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域とのつながり・社会参加機会のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生向けの進路・就職準備型事業所であり、活動内容が目的志向型であるため、児童館や放課後児童クラブとの直接的な交流機会を設けにくい。 ・将来を見据えた活動を主に実施しているため、地域交流の機会が限定的になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域イベントへの参加や、地域資源(図書館・商業施設等)を活用した活動を「地域との関わり」として意識的に位置づけ、発信していく。 ・進路準備型事業所としての特性を踏まえた「社会参加」の形を整理し、保護者へ明確に伝える。
2	家族支援・保護者同士のつながりの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会は年1回実施しているが、開催頻度や参加率により、機会が限定的と感じられている可能性がある。 ・きょうだい向けの交流は事業形態上実施が難しく、具体的な支援が見えにくい。 ・個別面談等で家庭全体を視野に入れた支援は行っているが、その取組が十分に周知されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会の開催方法(オンライン併用、テーマ別開催など)を工夫し、参加しやすい環境を整える。 ・きょうだい支援については、イベントに限らず、面談や情報提供の中で家庭支援の視点を明確にする。
3	安全対策・危機管理体制の周知と理解の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は年2回程度実施しているが、参加生徒が限定される場合がある。 ・契約時に説明しているものの、その後の継続的な周知が不足している可能性がある。 ・マニュアルは整備されているが、保護者にとって具体的にイメージしにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練実施状況や安全対策を定期的に通信やお知らせ機能を使って発信する。 ・事故発生時の対応フローを整理し、契約時などで分かりやすく説明する機会を設ける。 ・可能な範囲で利用生徒が訓練を経験できるよう実施方法を検討する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 進学 & 就職準備型放課後等デイサービス グッジョブテラス

公表日 2026年2月26日

利用児童
数 55

回収数 17

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	3		1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15			2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1		2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	1				
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16			1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1				
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	3	2	6		
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	1					
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17						
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15				2		
15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15	1		1			
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16				1		

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援がされていると思いますか。	15	1		1	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	1	1	5	保護者会の開催方法（オンライン併用、他事業所との合同開催など）を工夫し、より参加しやすい環境を整えてまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16			1	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16			1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16			1	
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10			7
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12			5	
25		事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1		5	
26		事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12			5	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15	1		1	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	1		1	
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1		1	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	進学&就職準備型放課後等デイサービス グッジョブテラス				公表日	2026年 2月 26日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		教室だけでなく、同フロアに併設されている図書館等を活用できる環境を活かし、生徒が状況に応じて過ごし方を選択できる柔軟な運営を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		職員間で情報連携を行いながら、子ども一人ひとりの特性や背景、ニーズを丁寧に把握し、アセスメントに基づいた支援計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			

適切な支援の提供

16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員の専門性を生かし、多角的な視点から意見やアイデアを出し合い、活動プログラムの企画・立案を行っている。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		交流活動、表現活動、体験活動、学習支援などのバランスを意識してプログラムを構成している。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	中高生を対象としているため、保育所等と連携していない。在籍校とは情報共有や支援の方向性の確認などの連携を行っている。	
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		事業所の特性上、児童館等との直接的な交流機会は限られるが、地域イベントへの参加や地域資源の活用を「地域との関わり」として位置づけ発信していく。

関係機関や保護者との連携

保護者への説明等	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		○		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達 の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支 援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の 参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		隣接する図書館と共催で、発育や発達、子 育てに関する講座を年に3回程度実施し、 情報提供の機会を設けている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な 説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保 護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点 を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けて いるか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明 を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を 得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、 面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する 等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援を しているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける 等の支援をしているか。	○			保護者会の開催方法については、オンライ ンの併用やグループ内の他事業所との合同 開催等を検討し、より多くの方にご参加い ただける機会を広げる。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備す るとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合 に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用する ことにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこ どもや保護者に対して発信しているか。	○			
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のた めの配慮をしているか。	○				
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事 業運営を図っているか。	○				
非常時等の対	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ ュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に 周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している か。	○			年に2回程度訓練を実施しているが、実施 状況や安全対策が十分に周知されていない ため、通信等を通して継続的に発信し、よ り分かりやすい情報提供に努める。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発 生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行って いるか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況 を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基 づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他 必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が 行われているか。	○			

応

51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			